



Merry Christmas from Mali



宮城学院 チャリティコンサート 2014

講演とクリスマスソング

クリスマスにマリと出会う ～感謝をこめて～

講演:カラ=西アフリカ農村自立協力会代表 村上一枝

コンサート:ベルナデタ・アスタリ(ソプラノ歌手) 井上 加奈子(ピアノ伴奏)

同時開催:マリ工芸品の展示と販売

入場
無料

会場:宮城学院 中学校高等学校講堂

日時:12月14日(日) 13:00開場、13:30開演(15:00終了予定)

共催:宮城学院中学校高等学校 特定非営利活動法人:カラ=西アフリカ農村自立協力会

問い合わせ先

宮城学院中学校高等学校 TEL:022-279-1331 e-mail:info-chukoh@miyagi-gakuin.ac.jp
カラ=西アフリカ農村自立協力会事務局 tel:0422-29-7640 e-mail:centre@ongcara.org

ご挨拶

アフリカのマリ共和国と宮城学院との出会いから、素晴らしいコンサートが生まれました。
村上一枝さんというひとりの女性が歯科医をやめ、そしてアフリカの人々の自立支援に立ち上がったその出来事が、
かつて生徒たちの心を揺さぶったのです。

その熱き思いが、脈々と今まで生徒会を通して受け継がれています。これは驚くべき奇跡。
そして遠いアフリカの地に生きる人々との出会いが、単に現地の学校建設にとどまらず、ここ仙台桜ヶ丘の地でコンサートという
形でわたしたちの喜びにつながっていくことはなんと素敵なことでしょう。

どうぞ、皆様、是非このコンサートに。お待ちしております。

クリスマスの喜びのとき、素敵な音楽をお届けできるのではないかと思います。

宮城学院中学校高等学校校長

松本 利勝

村上 一枝 (特定非営利活動法人 カラ=西アフリカ農村自立協力会代表)

1940年：北海道士別市生まれ。

1965年：日本歯科大学東京校出身歯科医師。日本歯科大学名誉博士。

1984～89年：歯科医院開業、後に廃業。

1989年：西アフリカ、マリ共和国へボランティアとして日本NPO法人「サヘルの森」の植林活動に参加。以後マリへ在住。

1990年：マリNGO「コマカン協会」の個人ボランティアとしてマディナ村に居住。村落開発に携る。村民健康調査。小学校の整備と再開。
診療所建設と看護士、助産婦育成。識字学習普及。保健衛生、病予防啓蒙活動・腸内寄生虫駆除、女性適正技術指導等を行う。

1992年9月：支援団体「マリ共和国保健医療を支援する会」設立、現地代表。

1993年9月：団体名称を「カラ=西アフリカ農村自立協力会」と改名。11月にカラ=西アフリカ農村自立協力会としてマリ政府から認証される。
マリ共和国クリコ州クアラ郡(57村)へ支援事業開始。

1998年5月：「カラ=西アフリカ農村自立協力会」代表に就任。

2000年：マリ共和国クリコ州シラコロラ郡(30村)へ支援事業開始。

2002年3月：東京都から【特定非営利活動法人】として認証される。

2004年：文部科学省検定済教科書「UNICORN ENGLISH COURSE II」(高等学校外国語用 109 文英堂 英II021)に活動内容がテキストとして載用中。

現在、マリ共和国活動地と日本事務局を往復し支援活動を継続している。



x'mas コンサート演奏曲(予定) concert

- アヴェ・マリア (カッチーニ) ●ブンガワン・ソロ (インドネシア民謡) ●からたちの花 (山田幸作)
- 野ばら (シューベルト) ●The First Noel ●Mary's boy child ●The Christmas song
- O Holy Night. ●Have yourself a merry little christmas
- ピアノ独奏 (2曲)：シューベルトとモーツァルトの小曲

井上 加奈子
KANAKO INOUE
ピアノ



茨城県東海村出身。

桐朋学園高等学校音楽科、同大学演奏学科ピアノ専攻卒業。卒業後オランダへ留学、ユトレヒト音楽大学院を好成績にて卒業後、アムステルダム音楽院にてフォルテピアノを学び、2010年に卒業。

室内楽や伴奏に強く興味を持ち、現在では多くの歌手また弦楽器奏者と演奏しており、その数年間50回を上回る。2010年より Groningen のサマーフェスティバルやユトレヒト音楽院の弦楽器部門の講習会などに室内楽奏者、また伴奏者として呼ばれている。

2009年、Bernadeta Astari (ソプラノ)とのデュオを結成。2010年及び2012年にコンクールにて第1位を受賞。その他 Martha Bijlsma (チェロ)、Saskia Otto (バイオリン) また Rosina Fabius (メゾ・ソプラノ)ともデュオとして演奏活動を行っている。オランダをはじめドイツ・ベルギー等のヨーロッパ内、またインドネシアなど、その活動範囲は幅広い。

これまでにピアノを樋口郁子、山田富士子、Martyn van den Hoek、Stanley Hoogland の各師に師事。またドイツ歌曲・フランス歌曲のマスタークラスを受講、以下のマスターに師事。(白井光子、Hartmut Höll、Elly Ameling、Helmut Deutsch、Julius Drake、Irwin Gage、Robert Holl、Rudolf Jansen、Christa Ludwig、Michael McMahon、Susan Manoff、Andreas Schmidt、Roger Vignoles、Jan Paul Grijpink、Wilko Jordens、Brian Masuda 等)

ベルナデタ・アスタリ
BERNADETA ASTARI
ソプラノ



インドネシア・ジャカルタ生まれ。

2006年にオランダへ留学、2012年ユトレヒト音楽院(学部及び大学院)を首席で卒業。在学一年目にしてコンクール(オランダ)で第一位を獲得、一躍注目を浴びる。その後も数々のコンクールで優勝や受賞を果たし、これからの活躍が期待されている。オランダ国内さまざまなコンサートホールにてリサイタルを行い、世界的に有名なコンサートホールにてオーケストラとの共演も果たしている。

2007年、インドネシアの歌曲集の世界初演のコンサート並びにCD録音の歌手として抜擢され、演奏に出演、CDをリリース。

2012年にはヨーロッパとインドネシアの曲々を合わせたCDをリリースした。

これまでに Henny Diemer をはじめ、多くのマスターに師事。(Jennifer Dakin、Brian Masuda、Roland Hermann、Cynthia Hoffmann、Christianne Stutzmann、Pieter Alferink、Ed Spanjaard、David Prins、Gusta Gerritsen、Jan Slothouwer、Jan Paul Grijpink、Wilko Jordens、Tim Nelson、Nathalie Doucet、Elly Ameling、Barbara Bonney、Helmut Deutsch、Julius Drake、Irwin Gage、Hartmut Höll、Robert Holl、Wolfgang Holzmaier、Rudolf Jansen、Susan Manoff、Wolfram Rieger、Mitsuko Shirai、Ruth Ziesak 等)

現在、オランダの Reisopera 歌劇団に所属。オペラ歌手としてオランダ各地を公演して回る他、2009年にデュオを結成した井上加奈子との歌曲リサイタルや室内楽等の演奏会を、オランダをはじめ、その他ヨーロッパ各国、またインドネシア・シンガポール等に行っている。特にインドネシアではマスタークラスを開催する等、自国のヨーロッパ・クラシック音楽家の育成にも力を入れている。最近ではクラシック音楽だけにとらわれず、ポップミュージックやジャズにも興味があるようだ。今後の活躍が楽しみである。